

平成27年10月～12月期平均及び平成27年平均 労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）の概要（広島県）

平成28年3月1日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果（モデル推計値）を公表しています。
この概要は、平成28年3月1日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業率・完全失業者]

・広島県の平成27年10月～12月期平均の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は2.9%と前年同期（2.9%）と同様（図1参照）。都道府県別では高い方から21番目。
また、平成27年平均の完全失業率は3.0%と、前年（3.1%）に比べ0.1ポイントの低下。
・広島県の平成27年10月～12月期平均の完全失業者数は4万2千人と、前年同期（4万1千人）に比べ千人（2.4%）の増加（図2参照）。
また、平成27年平均の完全失業者数は4万3千人と、前年（4万4千人）に比べ千人（2.3%）の減少。

[就業者]

・広島県の平成27年10月～12月期平均の就業者数は140万人と、前年同期（138万8千人）に比べ1万2千人（0.9%）の増加（図3参照）。
また、平成27年平均の就業者数は138万9千人と、前年（138万人）に比べ9千人（0.7%）の増加。

